

年金タイムトラベル・レクチャー

～将来の自分との対話による年金教育の提案～

明治大学

西澤周平 中山恵介 高橋颯斗 中村颯斗

研究の背景

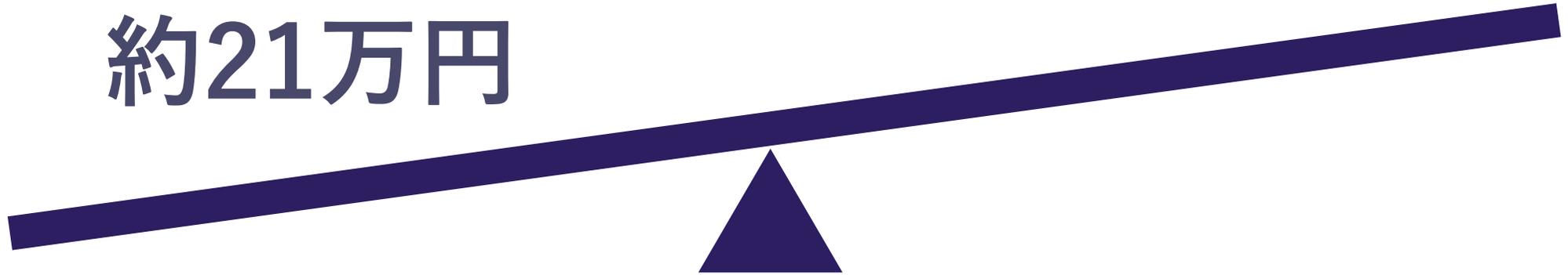
国民年金と厚生年金の平均月額

男性 約17万円

女性 約10万円

大卒初任給の平均月額

約21万円



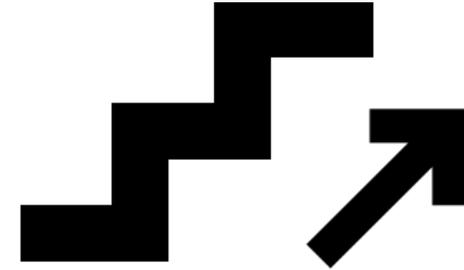
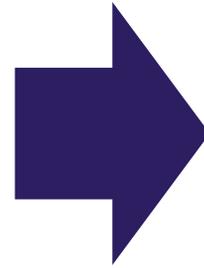
退職前の多くの所得を得ている状態から
一気に新入社員程度の生活水準に戻さなければならなくなる

研究の背景

80歳時点での生存率は

男性63.8% 女性81.5%

今後、年金生活を送る人が
さらに増えていく



加入義務のある国民年金と厚生年金に加えて、
上乘せ部分の年金による自助努力が必要である！

企業型確定拠出年金の加入者は**約750万人**、
iDeCoの加入者数は**約165万人**と、
日本の就業人口**6,655万人**に対して少ない

これらの問題を解決するために・・・

「将来の自分との対話による年金教育」



フューチャー・デザイン

背景： 人間の特性である楽観性・近視性が目先の利益を優先し、
将来世代を考慮せずに、資源を奪ってしまっている・・・



- 主な手法は、
現世代の中に**仮想将来世代の集団を創出し、対話する**



- 人間の特性である近視性や楽観性を排除し、
現世代の人々の行動を変化させることに長けている

フューチャー・デザイン導入事例

宇治市	集会所の維持問題、市役所の役員の研修に導入
京都府	水道管修理の広域化・共同化
矢巾町	長期的視点での水道料金の値上げ
吹田市	持続可能な都市を目指し、エネルギーのWSを開催
信州大学・松本市	人口減少を見据えた、持続可能な街づくり
岐阜大学	医療体制の人手不足解消
九州大学	引きこもりにみられる精神的不調への対策

フューチャー・デザインの社会科学への応用



現在は水や森林資源など**環境問題に特化**



将来世代の介入により、現世代の人々の行動を変化させることができるため、**金融分野との親和性も高い**



現在の自分と将来の自分との**対話**を見てもらう形式

実験の意義

- 教育効果を定量的に測定するために実験を行った



- レヴィット (2018) 『ミクロ経済学 発展編』

「実験経済学は明示的な実験を行うことにより、他のすべての条件を一定として、**仮説を検証することができる**」

実験で検証したい仮説

我々の教育手法の方が既存の教育手法より介入効果が高い

実験デザイン



Control群

現在から将来を見据えた既存の講義形式の
年金教育動画を視聴



Treatment群

将来の自分と現在の自分の対話形式の
年金教育動画を視聴

共通のテスト・アンケート

- 理解度測定テスト
- 認知反射テスト
- アンケート

実験デザイン



被験者はランダムに割り当てた

被験者の能力や属性が偏らないようにするため



動画時間は7分50秒に揃えた

刺激時間の差異による実験結果の差異を減らすため



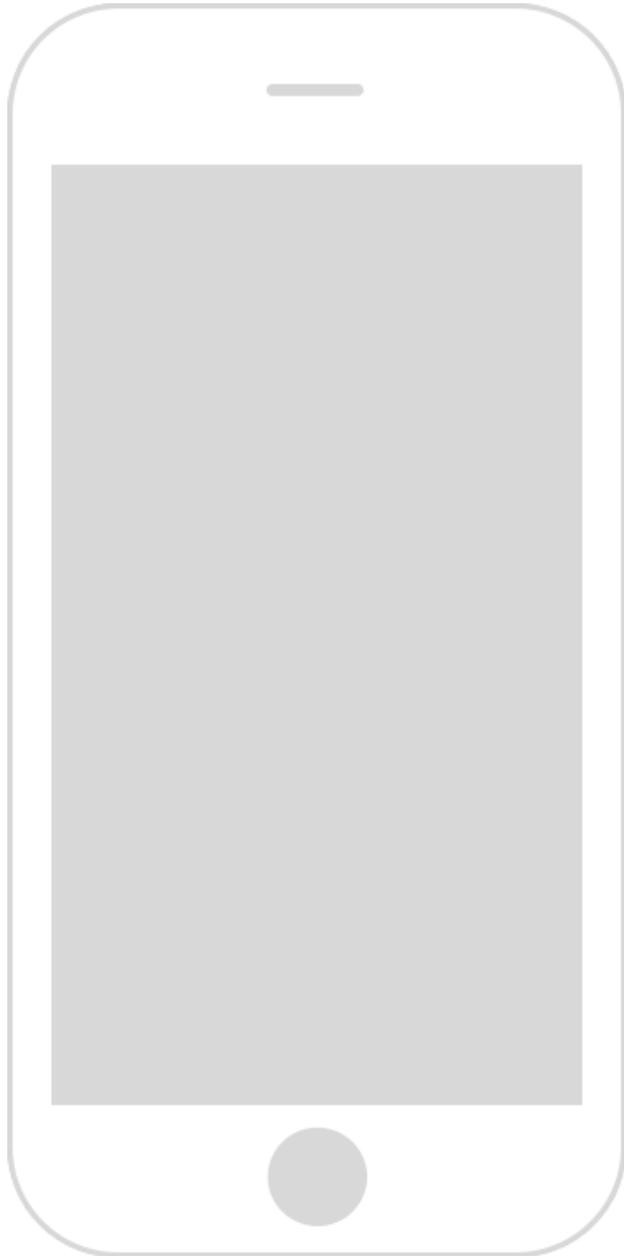
認知反射テストを行う意味

C群とT群の被験者の間に認知能力の差がないことを示すため



不正の防止

不正が行われることを避けるため
動画の視聴時間を含めて20分間の制限時間を設定



オンライン実験の意義

- 世界各国で平均寿命が延びている
- スマートフォン等の端末は世界に普及している
- オンラインの教育手法をパッケージ化して、世界へ輸出することが可能
- 日本が世界にこの教育手法を提案することにより、長生きリスクの緩和に寄与することが期待される

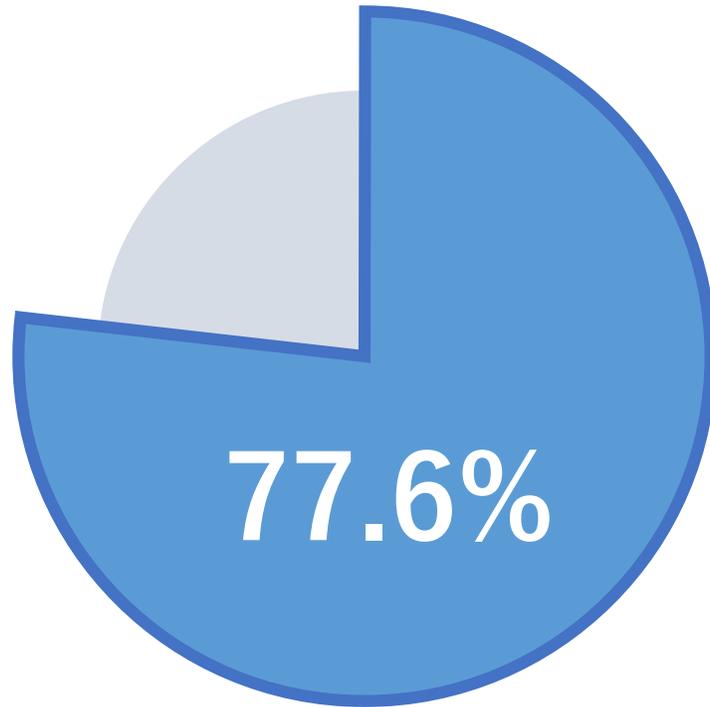
実験結果（被験者属性）

	C群（45人）		T群（45人）		
性別	男性 66.7%	女性 33.3%	男性 55.6%	女性 44.4%	
文系 or 理系	文系 82.2%	理系 17.8%	文系 80%	理系 15.6%	その他 4.4%
年金・保険の授業受講経験	あり 17.8%	なし 82.2%	あり 13.3%	なし 86.7%	
認知反射テスト平均点	1.71		1.84		

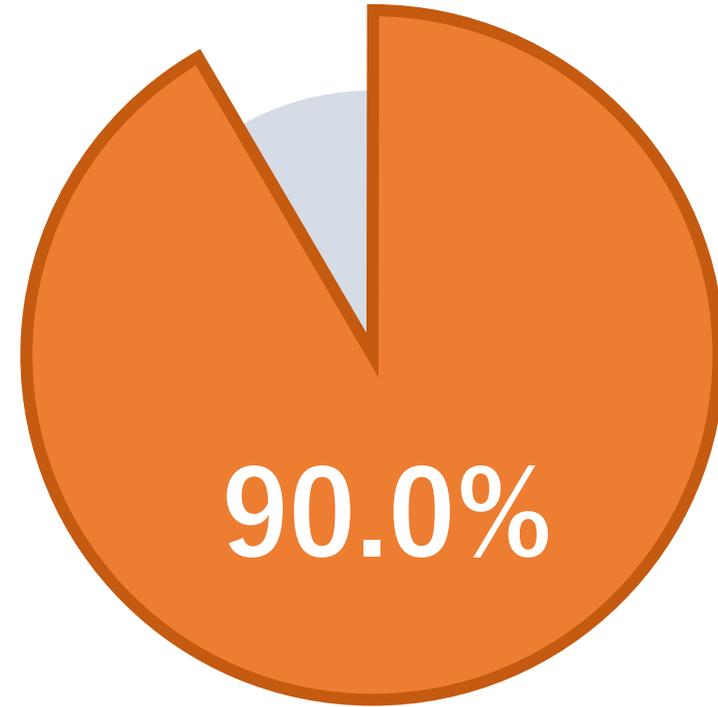
テスト結果やアンケート調査で差が出た場合は、**視聴した動画によるものとなる**

実験結果①

理解度テストの正答率



C群



T群

フューチャー・デザインを応用した教育手法の方が、
従来の座学型教育よりも教育効果が高い

実験結果②

認知反射テストの結果ごとに分類し、相関関係を分析

3,2点の人を認知能力Highグループ 1,0点の人を認知能力Lowグループに分類

	Highグループ	Lowグループ
T群	91.4%	87.5%
C群	78.3%	77.3%

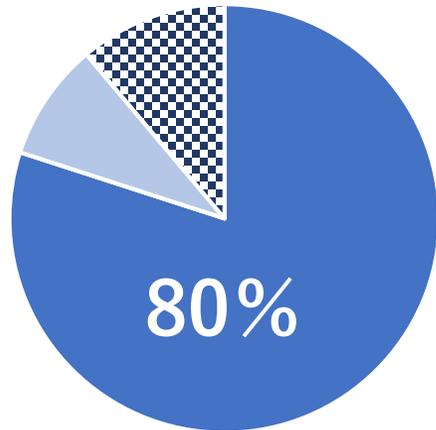
- ・ 認知能力とテスト結果には相関関係がある
- ・ C群Highグループより、T群Lowグループの方が点数が高い

フューチャー・デザインの介入によって、
認知能力の低いグループが、
認知能力の高いグループよりも動画の内容を理解した

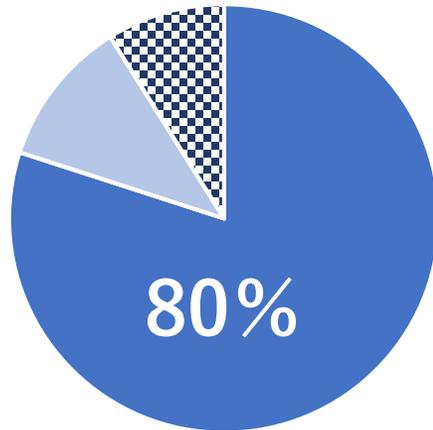
実験結果③

国民年金と厚生年金について
どのように感じましたか？

C群



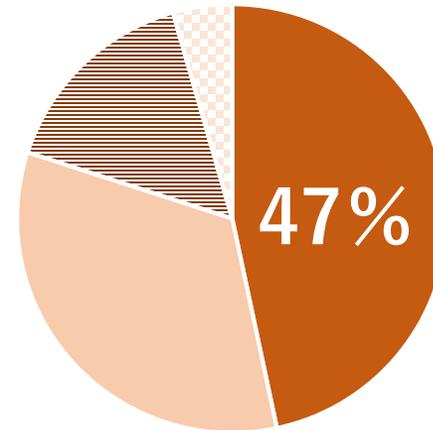
T群



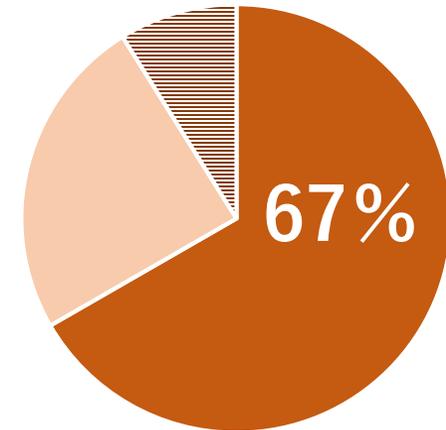
- 国民年金と厚生年金だけでは老後生活するうえで足りないと感じた
- 国民年金と厚生年金だけで老後生活するうえで充分足りると感じた
- 特に何も感じることはなかった

動画を見てiDeCoについて
どのように感じましたか？

C群



T群



- とても大切であると感じ、将来加入しようかと考えた
- 大切だと感じたが、加入はしないと思う
- 何とも思わなかった
- 絶対に加入はしない方がいいと感じた

全ての被験者は将来の年金不足のリスクを同程度に認識している

しかし

将来的に私的年金加入を検討している人の割合がT群の方が高かった

まとめ

- フューチャー・デザインを応用した教育手法の方が既存の教育手法より効果が高いことを示すことができた
- 人々の年金に対する興味を深めるだけでなく、将来の年金不足を解消する一助となることが期待される
- オンラインの年金教育手法をパッケージ化して、世界へ輸出することが可能

参考文献

【論文】

- ・ Gerald Eisenkopf and Pascal Sulser (2013) A Randomized Controlled Trial of Teaching Methods: Do Classroom Experiments Improve Economic Education in High Schools? Journal of Economic Education, 47, pp.211-225.

【書籍】

- ・ 西條辰義著 (2015) 「フューチャー・デザイン：7世代先を見据えた社会」 勁草書房
- ・ レヴィット著 安田洋祐監訳 高遠裕子訳 (2018) 「レヴィット ミクロ経済学 発展編」 東洋経済新報社

【Web】

- ・ 厚生労働省 平成30年簡易生命表（男） <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life18/dl/life18-06.pdf>
- ・ 厚生労働省 平成30年簡易生命表（女） <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life18/dl/life18-07.pdf>
- ・ 厚生労働省 令和元年賃金構造基本統計調査結果（初任給）の概況：1 学歴別にみた初任給
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/19/01.html>
- ・ 厚生労働省 確定拠出年金の施行状況（令和2年9月30日現在）
<https://www.mhlw.go.jp/content/000463291.pdf>

ご清聴ありがとうございました

明治大学

西澤周平 中山恵介 高橋颯斗 中村颯斗